

2009年12月20日(日)
13:30-15:00

はこだて科学寺子屋

新聞記者さんに聞く、地域メディアの話



vol.002

あなたのニュースを届けるには? コツがあります。

魅力的な活動を広く伝えるためにはマスメディアの協力が必要です。函館には広く読まれる地域の新聞があります。この講座では函館新聞(朝刊約2万部発行)、北海道新聞(函館版朝刊約12万部、夕刊約10万部発行)、2紙の記者さんを講師にお迎えします。新聞への情報提供のコツ、地域の話題が記事になるまで、そして地域メディアの役割について、記者、情報提供者、読者の三者の視点から考えます。

申込
不要

参加費
無料



会場

公立はこだて未来大学 4階 C&D講義室



お車の方は駐車場をご利用頂けます。

函館バス

55系統

パポツ前～五稜郭～亀田支所前～はこだて未来大学

105系統

函館駅～五稜郭～亀田支所前～はこだて未来大学

※土日のバス時刻表をご確認下さい。

講師

新目七恵さん (函館新聞記者)

地方紙の記者を志望し、2007年に故郷の帯広から函館にやって来た。科学祭や大学の話題、商店街の旬の食材、大好きな映画の話題等々、地域を広く、そして深く取材してきた。

大原智也さん (北海道新聞記者; 地域情報版みなみ風担当)

北海道新聞札幌本社勤務を経て、2008年に函館支社へ。地域情報版みなみ風の担当として市民の視点から函館を伝える。今年からはじまったはこだて国際科学祭を5回の特集記事で伝えた。

お問い合わせ

金森晶作(かなもり しょうさく)

(公立はこだて未来大学内サイエンス・サポート函館事務局)

kanamori@fun.ac.jp

電話:0138-34-6527 (10:00-18:00)

<http://www.sciencefestival.jp/>

※当初は要申込みとしてご案内していましたが、不要としました。当日会場に直接お越しください。



新目七恵さん



大原智也さん

terakoya2009

この講座をTwitterにてテキスト中継します。

<http://twitter.com/>

ハッシュタグは #terakoya2009 です。

今後のはこだて科学寺子屋

2010年2月14日

(仮題)科学パフォーマンス講座

講師: 渡辺儀輝(市立函館高校教諭)

2010年2月上旬

(仮題)函館でのフェスティバル運営

講師: 未定

主催/サイエンス・サポート函館

参加機関/函館市、公立はこだて未来大学、
函館工業高等専門学校、北海道教育大学函館校、
北海道大学大学院水産科学研究科・水産科学院・水産学部
キャンパス、コンソーシアム函館、南北海道学術振興財団、
函館市地域交流まちづくりセンター、
青少年のための科学の祭典函館大会実行委員会

